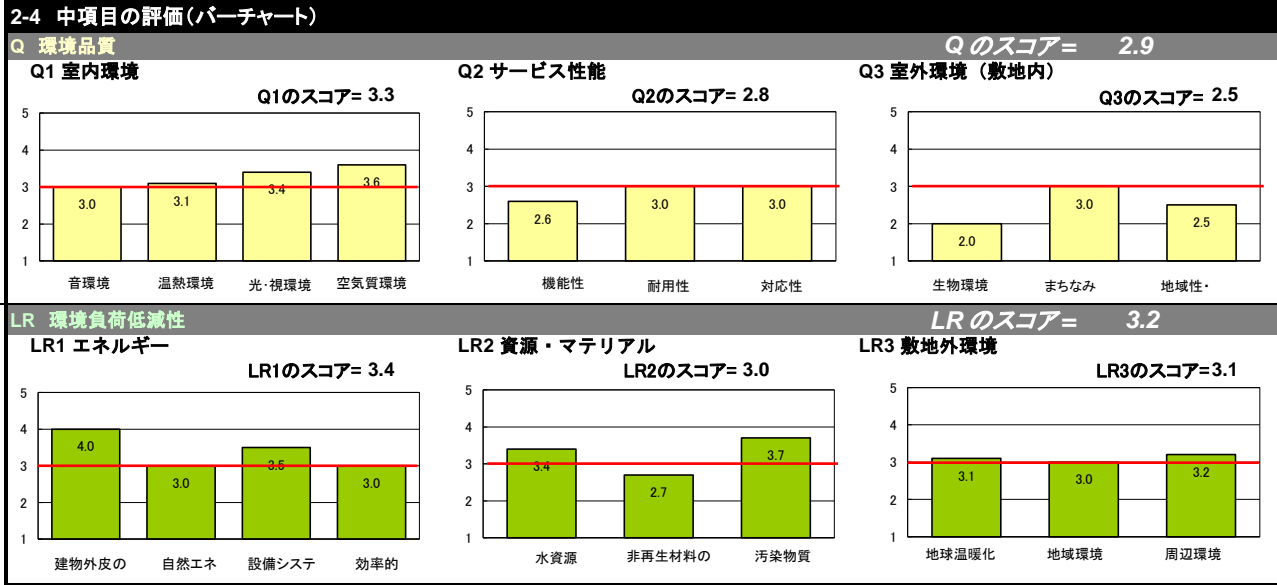
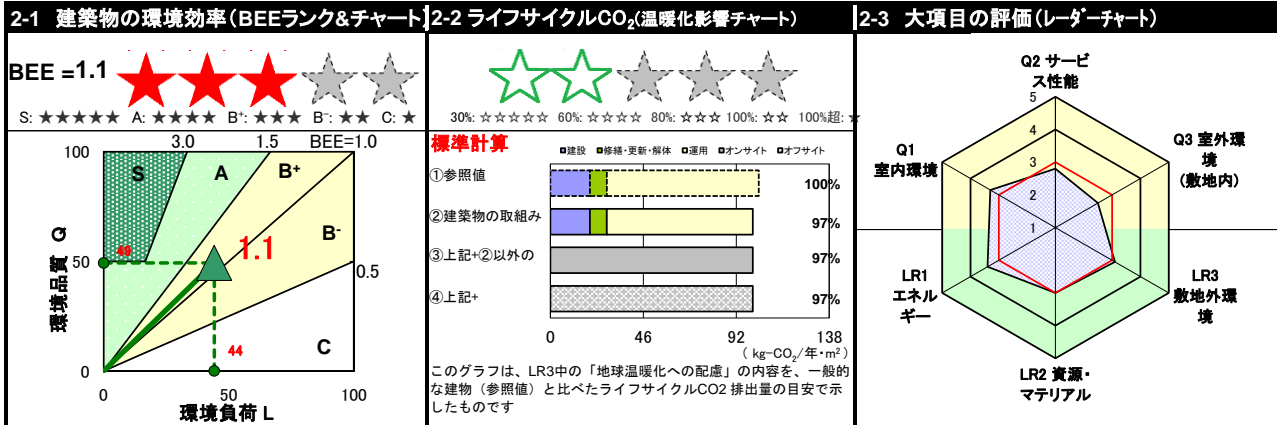


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢原市桜台1丁目プロジェクト新築工事	階数	地上14F
建設地	神奈川県伊勢原市桜台一丁目499番1,2,5	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2020年4月23日
敷地面積	660㎡	作成者	株式会社日本エーコン一級建築士事務所
建築面積	323㎡	確認日	2020年4月23日
延床面積	3,922㎡	確認者	株式会社日本エーコン一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅性能評価で断熱等性能4等級、一次エネルギー消費量4等級を取得する計画とし、省エネルギーに配慮している。敷地境界線際の植栽など、良好な緑地環境に配慮している。	
Q1 室内環境 断熱性能を省エネルギー対策等級4とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地、建物利用者が自然に親しめるように中庭に経路を設け、良好な緑地環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。
LR1 エネルギー 断熱性能を省エネルギー対策等級4相当、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓、便器を節水型とし節水に配慮。P.S. 天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される